

# 平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	3010203	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	幼稚園通園バス運行事業	担当部署名	教育課	
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	02村の特色を生かした教育の推進	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 平成12年度の赤阪・千早・多聞・小吹台幼稚園の統合から通園バスを実施しており、園児の通園の安全性確保等を図る。</p> <p>②内容 旧千早校区・小吹台校区・多聞校区へ通園バスを運行している。</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか) 旧千早校区・小吹台校区・多聞校区の園児</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか) 通園の安全性の確保</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題 ・悪天候等による通園バス運行の安全性の確保 ・園児数の減少による財政的負担の増大</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
			24 年度		25 年度	26 年度		
			事業費(予算)	実績(見込)	事業費(見込)	事業費(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		23 年度 実績	3,354	3,701	3,767	3,907		
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	3,354	3,701	3,767	3,907	3,907		
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109		
総コスト費(千円)(A+C)		4,463	4,810	4,876	5,016	5,016		
人口あたりコスト(円)		737	794	805	828	828		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値)    0% / 0 = #DIV/0! (A)

(1/2)

### Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証			
評価項目	評価結果		評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4	4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	園児が安全に登園できている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4	4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	遠距離の園児の登園の手助けができ、保護者の負担を減少させている。
③効率性 ※効率的に進められているか	3	4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	バス1台で村内全域を巡回するのに時間がかかる。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3	4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	特定の者を対象としているが、受益者以外の村民からみても理解が得られやすい。
○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14	16	88% (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	88%	#DIV/0!	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
幼稚園一園化に伴う通園措置であり、引き続き実施する。	

### Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
園児の通園の安全確保のため引き続き実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
園児の通園の安全確保のため引き続き実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止